

クササンダンカ

学名	Pentas lanceolata
科名	アカネ
別名	ペンタス
区分	まちかど しょくぶつ 街角の植物
分布	マダガスカル、 ^{ねったい} 熱帯アフリカ、 アラビア半島 ^{はんとうげんさん} 原産



葉の形	ひしんけい だえんけい 被針形、楕円形
葉の縁	ぜんえん 全縁
葉の先	えいせんけい 鋭尖形
葉の種類	たんよう 単葉
葉の付方	たいせい 対生
葉の基部	
実の種類	
花・萼色	もちいろ しろうとうたしよく 桃色、白色等多色

説 明

ひがしねったい 東^{はんとうなんぶげんさん}熱帯アフリカからアラビア半島南部原産の多年^{たねん}生草本で、成長すると根元が木質化し樹高が1mを超^こえます。花はサンダンカに似て、枝の先に数多く集^{あつ}まって咲く花です。花びらは5枚（サンダンカは4枚^{まい}）で先が尖っているのが特徴です。分枝力が強く、枝が^{ぶんしりよく つよ}先端に広がる性質があり、花の色は赤、桃色、白など^{えだ}があります。